

平成22年度 岐阜県高等学校バスケットボール新人大会  
兼 東海高等学校バスケットボール新人大会県予選会  
大会第2日:平成23年1月29日(土)  
会場:大垣市総合体育館・瑞浪市民体育館

## 男子の部

<審判>

Aブロック 決勝	美濃加茂	112	$\begin{bmatrix} 35 - 16 \\ 21 - 8 \\ 25 - 10 \\ 31 - 4 \end{bmatrix}$	38	可児工	小森邦弘・鈴木雅雄
Bブロック 決勝	岐阜農林	64	$\begin{bmatrix} 15 - 7 \\ 15 - 14 \\ 11 - 13 \\ 23 - 10 \end{bmatrix}$	44	中津川工	名越龍男・大豆村 斉
Cブロック 決勝	富 田	80	$\begin{bmatrix} 18 - 16 \\ 22 - 11 \\ 14 - 14 \\ 26 - 12 \end{bmatrix}$	53	恵 那	宮崎泰彦・松浦由和
Dブロック 決勝	岐阜総合	94	$\begin{bmatrix} 33 - 17 \\ 19 - 18 \\ 26 - 10 \\ 16 - 10 \end{bmatrix}$	55	長 良	辻角政治・野々村日希
5位決定 予備戦	中津川工	77	$\begin{bmatrix} 18 - 20 \\ 21 - 8 \\ 22 - 7 \\ 16 - 24 \end{bmatrix}$	59	可児工	伴 幸二・津田健介
5位決定 予備戦	長 良	73	$\begin{bmatrix} 8 - 19 \\ 26 - 17 \\ 14 - 12 \\ 25 - 16 \end{bmatrix}$	64	恵 那	川島哲生・小島 明
決勝 リーグ	美濃加茂	103	$\begin{bmatrix} 27 - 18 \\ 29 - 21 \\ 21 - 5 \\ 26 - 14 \end{bmatrix}$	58	岐阜農林	相宮俊郎・中川雅也

美濃加茂は1-2-1-1オールコートプレスからの2-3ゾーン、岐阜農林はハーフコートマンツーマンでスタート。美濃加茂は、 范、 赤土が高さを生かしてリバウンドシュート、ポストプレーを決めれば、岐阜農林は 早崎の速攻、吉田のドライブで応戦する。美濃加茂は長身の 赤土、 范がディフェンスリバウンドを確実にものにして、そこから得点につなげていく。第1ピリオドを終えて、美濃加茂が27-18と一歩リードする。

第2ピリオド、岐阜農林は速攻やアーリーオフェンスで追い上げを図るが、美濃加茂は 范のローポストからの攻めや、 田口のミドルシュートなどで得点を伸ばす。 范の3点シュートも決まって、56-39と美濃加茂がリードを広げて前半を終了した。

第3ピリオドに入っても、美濃加茂は高さを生かしたディフェンスで相手の制限区域内でのオフェンスをシャットアウトする。岐阜農林はアウトサイドシュートも決まらず、8分間ノーゴールの場面もあった。美濃加茂は横山の連続3点シュートなどでさらに差を広げて、77-44とリードして第3ピリオドを終了した。

第4ピリオド、美濃加茂は范のポストプレー、リバウンドシュート、横山のアウトサイドシュートなど攻撃の手を緩めず、着実に得点を伸ばしていった。結局、高さ、スピード、シュート力に優る美濃加茂が103-58で勝利して、決勝リーグの1勝目をあげた。岐阜農林も吉田の連続速攻で最後の意地を見せたが、及ばなかった。(原田 健)

決勝 リーグ	岐阜総合	89	$\begin{bmatrix} 25 & - & 17 \\ 15 & - & 16 \\ 20 & - & 18 \\ 29 & - & 9 \end{bmatrix}$	60	富田	小牧秀則・瀬川雄一郎
-----------	------	----	---	----	----	------------

両チームともマンツーマンでスタートする。第1ピリオド、大野のゴール下のシュートや、松岡の3点シュートなどで得点をあげる。対する富田は山田の3点シュートや池上のリバウンドシュートなどで応戦する。第1ピリオドは岐阜総合が25-17とリードする。

第2ピリオドに入ると、岐阜総合が山川の3点シュートや光石の速攻で一気に点差を広げる。富田はディフェンスをゾーンに変え粘りを見せ、池上のドライブや山田の3点シュートなどで追いつける。前半は岐阜総合が40-33と7点リードして折り返す。

第3ピリオド、富田はゾーンディフェンスからボールを奪い、田中のドライブや山田、池上の3点シュートで追い上げをみせ1点差まで詰め寄る。しかし、岐阜総合も落ち着いたボール運びから山川の2本の3点シュートなどで得点をあげ、60-51と岐阜総合がリードして最終ピリオドを迎える。

第4ピリオドに入ると、岐阜総合が大野や山川の得点で一気に引き離す。富田も山田、池上を中心に必死で追い上げを図るが、速さとシュート力で勝る岐阜総合が、最後まで相手に主導権をゆずることなく89-60で決勝リーグ1勝目をあげた。(林紗規子)

## 女子の部

< 審判 >

Aブロック 決勝	岐阜女子	128	$\begin{bmatrix} 42 & - & 14 \\ 38 & - & 4 \\ 22 & - & 10 \\ 26 & - & 8 \end{bmatrix}$	36	土岐商	小池匡弥・岩永英夫
Bブロック 決勝	高山西	48	$\begin{bmatrix} 10 & - & 10 \\ 13 & - & 10 \\ 14 & - & 13 \\ 11 & - & 2 \end{bmatrix}$	35	県岐阜商	小泉純子・廣瀬卓哉
Cブロック 決勝	岐阜総合	76	$\begin{bmatrix} 36 & - & 11 \\ 17 & - & 12 \\ 18 & - & 12 \\ 5 & - & 11 \end{bmatrix}$	46	大垣商	増田博徳・河村好展
Dブロック 決勝	長良	80	$\begin{bmatrix} 15 & - & 6 \\ 14 & - & 21 \\ 27 & - & 18 \\ 24 & - & 12 \end{bmatrix}$	57	岐阜農林	高橋英彦・小森裕子
5位決定 予備戦	土岐商	80	$\begin{bmatrix} 28 & - & 9 \\ 22 & - & 7 \\ 19 & - & 17 \\ 11 & - & 25 \end{bmatrix}$	58	県岐阜商	米田 康・加藤 文

5位決定 予備戦	岐阜農林	59	$\begin{bmatrix} 24 & - & 12 \\ 8 & - & 16 \\ 11 & - & 8 \\ 16 & - & 9 \end{bmatrix}$	45	大垣商	菅野孝弘・棚橋英一
-------------	------	----	---	----	-----	-----------

決勝 リーグ	岐阜女子	100	$\begin{bmatrix} 32 & - & 6 \\ 17 & - & 8 \\ 20 & - & 15 \\ 31 & - & 8 \end{bmatrix}$	37	高山西	角平和優・林 義貴
-----------	------	-----	---	----	-----	-----------

岐阜女子はオールコートマンツーマン、高山西はハーフコートマンツーマンでスタート。岐阜女子は粘り強いディフェンスから相手のミスを誘ってリズムをつかみ、森沢のドライブ、梶川の3点シュートなどで着実に加点していく。対する高山西は、張、筒井にボールを集めてオフェンスを展開するが、シュートまで持ち込めない。第1ピリオドは岐阜女子が32-6とリードを奪う。

第2ピリオドに入っても岐阜女子はディフェンスの手を緩めず、アイダのインターセプトなどから速攻で得点を重ねて、前半を49-14で終える。

第3ピリオド、岐阜女子は野原、梶川、小林が次々とシュートを決める。高山西は、張を起点に筒井がよく攻めるが、相手のオールコートプレスに対してミスが続き、無得点の時間帯もあった。

岐阜女子が40点をリードして迎えた第4ピリオド、岐阜女子はスピード感のあるオフェンスを展開して、次々と加点していく。結局、スピード、パワー、シュート力に優る岐阜女子が、100-37と大量リードを奪って勝利し、決勝リーグの1勝目をあげた。高山西もアウトサイドシュートを果敢に打つが得点につながらず、点差を縮めることはできなかった。(田中真紀)

決勝 リーグ	長良	80	$\begin{bmatrix} 18 & - & 20 \\ 32 & - & 18 \\ 18 & - & 14 \\ 12 & - & 13 \end{bmatrix}$	65	岐阜総合	大江裕之・谷口武久
-----------	----	----	--	----	------	-----------

両チームともオールコートマンツーマンでスタートする。第1ピリオド、長良は服部のゴール下や井口の2本の3点シュートなどで得点をあげる。対する岐阜総合は羽賀の連続得点などで対抗し、第1ピリオドは20-18と岐阜総合がリードする。

第2ピリオドに入ると、長良は若園のリバウンドシュートや大野のドライブなどで得点をあげ逆転に成功する。岐阜総合も羽賀、小西の3点シュートなどで追い上げを図る。前半は長良が50-38とリードする。

第3ピリオド、長良は井口の3点シュートや大野のシュートなどで着実に得点を重ねていく。岐阜総合はスティールからの速攻などで巻き返しを図るが、思うように得点が伸びない。第3ピリオドを終わり、長良が68-52とリードを保つ。

第4ピリオドに入ると、岐阜総合は激しいディフェンスからリズムをつかみ、羽賀、牧田の3点シュートで追い上げる。さらに牧田の速攻で8点差まで追い上げる。しかし、長良は落ち着いたゲームコントロールでその後の反撃を断ち切り、80-65で決勝リーグ1勝目をあげた。岐阜総合も最後まであきらめず攻め続けるが、わずかに及ばなかった。(中田真由美)